

# 施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



## 1 施策の基本情報(Plan)

施策名	26 快適な公共交通環境の整備	
目的	対象	市民, 市内公共交通機関の利用者
	意図	安全, 快適, 円滑に目的地まで移動できる
施策の方向	将来の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに, 交通安全対策の推進, 環境への負荷の少ない自転車利用の促進などを通じて, 誰もが安心して移動できる快適な交通環境が整備されたまちづくりを進めます。	

## 2-1 施策全体の考察①（施策の目的, 方向に対する考察）

<p>施策の目的, 方向に対する考察 (Check・Action)</p> <p>北部地域デマンド型交通の実証実験やバスの減便・再編への対応など, 地域公共交通の維持に向けた取組を行うとともに, 地域公共交通計画の策定を進めた。                  自転車活用推進計画については, 自転車の利用促進と適正利用に向けて策定検討を行った。                  また, 自転車の安全利用に向けた取組として, 令和6年度も引き続き自転車用ヘルメット購入補助事業を行った。                  なお, 増加する自転車が絡む事故への対応や, 新たなモビリティの安全な利用の周知など, 様々な機会を捉えた継続的な啓発が必要である。</p>
---

## 2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移/考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合	%	78.5 令和4年度	78.5	79	80.0 令和8年度	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は, バス路線の再編が実施されたが, 公共交通活性化協議会や通常業務を通じた交通事業者との連携により一定水準のサービスを維持し, 市民の利便性を保っている。</li> <li>今後, 地域公共交通計画を策定し, 市民・事業者・市の協働で改善に取り組む。</li> </ul>
市内における交通人身事故件数（暦年）	件	479 令和4年	514	445	370 令和8年	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年以降, 人々の移動需要が回復し, 同時に事故件数も上昇した。一方, 令和2年以降, 死亡事故は減少し, 令和4年・5年と0件となったが, 令和6年に2件発生したことを踏まえ, 交通安全の啓発事業を継続していく。</li> </ul>
自転車乗入台数	台	1万657 令和3年度	1万1,459	9,454	1万2,000 令和8年度	▼	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺での自転車通行空間整備を進め, 安全な走行空間を確保する。</li> <li>利便性の高い駐輪場整備を進める。</li> </ul>

※ ○：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

## 3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向

### ■26-1 公共交通ネットワークの形成

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
87	交通計画等の検討	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合交通計画の進行管理</li> <li>地域公共交通計画策定検討（課題抽出, データ整理）</li> <li>ミニバス運行維持のための事業者協議, 調整</li> <li>公共交通活性化協議会の開催（全4回）</li> <li>バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の進行管理</li> <li>バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の取組状況調査及び内容評価</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合交通計画の進行管理</li> <li>地域公共交通計画の策定及び事業推進</li> <li>ミニバス運行維持のための事業者協議, 調整</li> <li>公共交通活性化協議会の開催（本会議3回, 作業部会3回程度を予定）</li> <li>バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の進行管理</li> <li>バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の取組状況調査及び内容評価</li> </ul>

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①北部地域デマンド型公共交通実証実験の実施（令和5年12月から令和6年3月）及び期間延長（令和8年3月まで） ②交通情報の発信に向けたデジタルサイネージ等の設置検討（調布駅前広場） ③バリアフリー基本構想に基づく鉄道駅ホームドア等の設置促進	①北部地域デマンド型公共交通実証実験の実施及び実験終了後の地域モビリティ導入検討 ②交通情報の発信に向けたデジタルサイネージ等の設置検討（調布駅前広場） ③バリアフリー基本構想に基づく鉄道駅ホームドア等の設置促進

■26-2 交通安全対策の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①全国交通安全運動・交通安全市民のつどい、自転車安全利用キャンペーン等の啓発活動の実施・活動支援 ②自転車安全教室、高齢者交通安全指導員講習会、自転車安全利用講習会等の実施 ③高齢者等運転免許自主返納サポート事業、T Sマーク補助事業、自転車用ヘルメット購入補助事業の実施 ④子ども交通安全教室の運営、新一年生への交通安全啓発用品の支給（F C東京との連携実施） ⑤調布駅前広場における通行ルール（自転車押し歩き）の検討・周知・啓発 ⑥道路照明、カーブミラーの設置や維持管理など、交通安全施設の整備	①全国交通安全運動・交通安全市民のつどい、自転車安全利用キャンペーン等の啓発活動の実施・活動支援 ②自転車安全教室、高齢者交通安全指導員講習会、自転車安全利用講習会等の実施 ③高齢者等運転免許自主返納サポート事業、T Sマーク補助事業、自転車用ヘルメット購入補助事業の実施 ④子ども交通安全教室の運営、新一年生への交通安全啓発用品の支給（F C東京との連携実施） ⑤調布駅前広場における通行ルール（自転車押し歩き）の検討・周知・啓発、改正道交法に関する周知・啓発 ⑥「調布市道路付属物維持管理方針（令和6年3月策定）」に沿った交通安全施設の維持・管理・更新

■26-3 自転車利用の促進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
88	自転車等利用環境の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	・自転車活用推進計画策定に向け検討会を開催 ・自転車通行空間整備工事（1路線）を実施 ・国領西自転車等駐車場の改修工事を実施 ・飛田給北自転車駐車場の高圧受変電設備の更新工事を実施 ・耐用年数の経過した駐輪場機械設備（2箇所）を更新	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・自転車活用推進計画を策定 ・自転車通行空間整備工事（1路線）を実施 ・耐用年数の経過した駐輪場機械設備を更新

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①自転車等駐車場における定期利用申込システムの構築を検討	①自転車等駐車場におけるデジタル技術を活用した定期利用申込システムの導入を検討

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度取組実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・調布駅周辺の駐車状況がインターネット上で表示されるようにシステムを更新【令和6年度】 ・北部地域デマンド型公共交通実証実験におけるスマートフォンアプリの活用【令和6年度・7年度以降】 ・自転車等駐車場におけるデジタル技術を活用した定期利用申込システムの導入を検討【令和6年度・7年度以降】	・公共交通活性化協議会の運営【令和6年度・7年度以降】 ・地域公共交通計画の策定検討、策定及び事業推進【令和6年度・7年度以降】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・シェアサイクルステーションを増設し利便性の向上と利用促進【令和6年度・7年度以降】 ・公共交通の利用促進（地域公共交通計画の策定に向けた検討【令和6年度・7年度以降】）	・大規模災害時へ備えシェアサイクル事業者防災協定を締結【令和7年度】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

・自転車活用推進計画に基づき、安全な自転車通行空間整備や利便性の高い駐輪場の整備 ・恒久的な駐輪場の確保に向け、地権者と友好的な関係構築 ・持続可能な公共交通ネットワークの構築（バス等の都市交通及び域内交通の維持・導入） ・地域モビリティの導入検討及び実装（北部地域デマンド型公共交通実証実験後の取組、自動運転バス等の導入検討） ・バリアフリーマスタープラン、基本構想、特定事業計画の改定 ・京王線各駅へのホームドア等設置促進のための補助金執行 ・交通環境改善（バス待ち環境、交通情報発信基盤、交通結節点整備など）
---